

K.UNO NEWS LETTER | Vol.06

ケイウノ オーダーメイド広報通信

毎月1回、ジュエリーやオーダーメイドに関する、さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けする「ケイウノ オーダーメイド広報通信」

想いが宿るジュエリーは 私たちの大切なアルバムです



ケイウノは全国に38店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。ケイウノが取り組む活動や、サービスについて広報誌で発信しています。

今回ご登場いただくのは、マリッジリングの製作をきっかけに、ケイウノと10年来のご縁をいただいているご夫妻。お誕生日や結婚記念日ご出産など折々の記念に合わせてケイウノにいらして下さるようになりました。2016年に結婚10周年を迎えられ、現在は8歳と4歳のお子さまがおいでになるのですが、今もお互い名前呼び合う仲の良さは結婚当初そのまま。「あつという間の10年でしたね」と顔を合わせて微笑まれます。初夏、心地よい風が吹き抜ける日曜の昼下がり。ケイウノ・自由が丘店のサロンでお二人を担当するスタッフも同席させていただいて、にぎやかにお話を伺いました。

笑顔が素敵な仲むつまじいお二人。
ケイウノ自由が丘店にて

長く大切にしたいから、プレゼントはジュエリーで

取材当日、お二人にはケイウノで初めて眺えていただいたマリッジリングを始め、いくつかのジュエリーをお持ちいただきました。それぞれのジュエリーを見せていただきながら、「あの時はこうでしたね」「そうそう!」と、同席させていただいた担当スタッフも交えて話が弾みます。

お二人がオーダーされたマリッジリングは羽や花などのモチーフを共通にしておそろい感を出しながらも、材質やデザインはそれぞれの好みや雰囲気に合わせて仕上げに。また美しい夜景を楽しむ夜のレストランウェディングだったことの思い出に、リングの裏側にはお月さまのモチーフも……。

「マリッジリングをつくる時、オリジナルがほし

いと思っていて情報誌でケイウノさんを見つけたんです。最初は様子を見に行くだけのつもりだったんですが、デザイナーの方が目の前でどんどん描いてくださるのにすっかり魅せられてしまって。羽のモチーフがいいなと話したら、いつのまにかそれも取り入れてくれたりして。気づいたらオーダーしちゃってました」

と、ダンナさまが笑う横で奥さまからはこんなお話が。

「マリッジリングはもちろんです、お誕生日のプレゼントなどもせっかくだきたくものなので長く大切にしたいと思っています。流行に影響されたり、早く傷んでしまったりするのは悲しい。その点ジュエリーはずっと身につけられる上、それぞれにストーリーがあって、今でも箱を開ける度にその時の思い出がよみがえるん

です。あの時こんな風だったなとか。言ってみれば二人の、また家族のアルバムみたいなものかもしれないね」

こうして自由が丘店においてくださるようになったお二人。最初はマリッジリングのご縁で来店くださっていたのが恒例化し「そろそろ誕生日だけど、ケイウノ行く?」という会話が交わされるようになったのだとか。今では二人のお子さまも一緒においでになることも多く、ある時には併設されている工房で開催された加工体験に親子でご参加いただいたとのこと。仲の良いご家族の様子が目に浮かびます。

ケイウノは行きつけのジュエリーショップ

お二人には、記念日ごとにジュエリーをご注文いただいたのですが、結婚10周年を迎えてオーダーされたのは、奥さまの時計。親御さんからプレゼントされた時計が壊れてしまいちょうど時計を探していらしたのだそうでいろいろなところに見に行ったものの、なかなか思うものが見つからず……。

「毎日電車通勤なので、時間がすぐわかることがとても大切。一目でわかりたいのに、女性用の時計って華奢で文字盤が見にくいんです。どうしよう、困ったなと思っていた時にケイウノに行ったら——「シンシア」に出会って。文字盤が見やすくデザインも気に入りました。機械式時計は初めてだったので少し抵抗はあったものの「ケイウノさんの時計」ということで大丈夫!と(笑)」

「ジュエリーもそうですが、せっかく贈ってくれるので時計も長く使いたいと担当スタッフの方に話したら、修理もずっとできますよと言っていた。そして最後の決めてとなったのが、時計の裏側のローターにマリッジリングと同じ羽根のモチーフを入れてはどうでしょうか?と素敵な提案をいただいたこと。まさかそんなことができると思っていなかった。とてもうれしかったです。指輪と時計が

おそろいなんてなかなかできないことですよね。特別な感じで一層思い入れが深まります」

機械式の時計なので、最初は巻くのが面倒かなと思っていたらそうなのですが、今では子どもたちを寝かしつけた後ゆっくりねじを巻きながら、今日一日を思う大切な時間になっているのだそうです。



左:デザイン画。マリッジリングのモチーフを時計のローターに。右:ケイウノオリジナル時計「シンシア」スモールサイズ



お客様の要望を伺いながら、その場でデザインを提案

こうしてお二人のさまざまな局面に、ジュエリーを通して関わらせていただいたケイウノについて、ダンナさまがこんな風に語ってくださいました。

「ひょんなことから何うようになったケイウノさんですが、お店の雰囲気もあってなんだか来やすいんです。親子で来店されている方も多いので、子どもと一緒に伺っても気が楽ですね。先日は上の子がお店のピアノを弾かせてもらったりして、すっかりなじんでしまっ(笑)」

「行きつけのジュエリーショップ、なんて言ったらすごくていなくな感じがしますが、担当スタッフ

の方が僕たちそれぞれの好みもちゃんとわかってくれている上に、うちのおサイフ事情も考えてくれていて(笑)。

なんでもかんでも薦めるのではなく、合わないものはこれはやめましょう、ときちんと言ってくれるので安心感が違います。全面的に信頼して任せることができるお店があるってうれしいですね」

ケイウノが最も大切にしているのは「お客さまの想いをカタチに」すること。

お二人とお子さまのたくさんの想いをカタチにしていくことを、これからも永くお手伝いできればと思っています。

7月の誕生石 ルビー

その鮮やかな色合いから、情熱・威厳・勇気などの石言葉を持つルビー。語源はラテン語で「赤」を意味する“ruber”。和名は“紅玉”。そう、りんごと同じですね。危険や災難から持ち主の身を守り、困難を打破して勝利を導くとして権力の象徴とされたりカリスマ性を高め、魔除けや幸福をもたらすとされています。

